

1 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために不可欠な「体験活動」

体験活動 学習指導要領第1章第3の1の(5)

児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

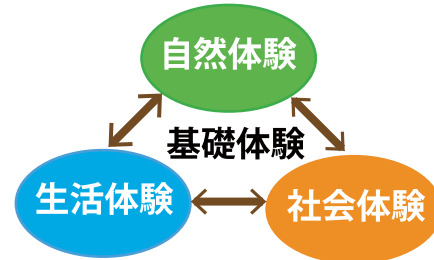
本サポートガイドでは、体験活動を自然体験・生活体験・社会体験の3つの基礎体験として整理し、学年ごとの各教科において該当する単元を抽出し、またEWCエコカード活動との関連などをP8からP10にまとめています。

掲載している生き物などの写真は、各学年での学びの対象となると思われるものを選んでいきます。

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえた体験活動の計画づくりを児童が各種の「体験活動」と「教科の特質に応じた配慮事項」を一体的に捉え、体験活動をより効果的に実施したり、体験活動の成果をさらに深めていくことができるよう「教科の特質に応じた配慮事項」についても下段に掲載しています。

P13・14には、2020年度・2021年度に小学校5年生の自然学校代替えプログラムとして甲山で実施できる体験活動と教科等との関係を整理したものを参考資料として掲載しています。

各小学校において身近なフィールドや市内の山・川・海のフィールドなどで、各学年の学習内容に即したこうした資料が作成・整理されることで体系的で継続的な体験活動を先生方の負担を少なく実施することができます。



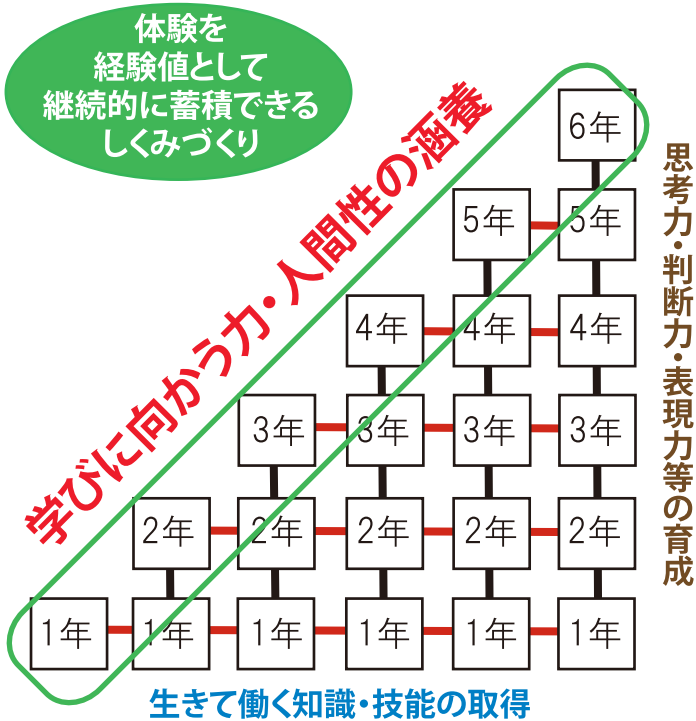
2 6年間を通じた「体験活動での学びの成長記録（ポートフォリオ）」（仮称）

この度の学習指導要領における重要課題となっている学習評価について、各種の体験活動などを通じて児童が自らの学びや成長について自己認識できるしくみ（機会）が必要ではないかと考えています。

そのためには、自己を客観視し、繰り返し自己の成長を振り返ることができるよう小学校6年間を通じた「体験活動での学びの成長記録（ポートフォリオ）」（仮称）を児童や家庭の協力のもと作成してみることもできるのではないのでしょうか。

体験活動が、体験に止まらず、思考力・判断力・表現力等の育成とも相まって記録として残されていくことで児童が自らの成長を逐次振り返ることが出来るようになります。

習得・活用・探究という学びの過程を連続的に発展させるためにもリアルな体験活動が大きな役割を担うことが出来ると考えています。



子どもたちが生きる力を育む際に土台となる基礎体験（自然体験・生活体験・社会体験）の視点から各教科の単元やEWCの活動を整理しています。8ページ以降で抽出している各学年の単元等は、実際に体験活動を行えるものばかりではありませんが、子どもたちに体験することの大切さを意識してもらうことができるものと考え掲載しています。「深い学び」につながる「習得・活用・探究」という学びの過程、思考・判断・表現の過程で大切にすべき各教科の特質に応じた配慮すべき事項（小学校学習指導要領解説 総則編 P78～P80より抜粋）についても参考にしてください。

特別の教科 道徳

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

生活科

児童が具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関する見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図ることとし、校外での活動を積極的に取り入れること。

総合的な学習の時間

児童や学校、地域の実態等に応じて、児童が探求的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習を行うなど創意工夫を生かした教育活動の充実を図ること。

特別活動

よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に資するよう、児童が集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む中で、互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視すること。

外国語科・外国語活動

具体的な課題等を設定し、児童が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現などの知識を、五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

具体的な課題等を設定し、児童が外国語における見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現などの知識を、三つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

教科の特質に応じた配慮事項

西宮市生物保護地区の生きものたち

写真上段：甲子園浜鳥獣特別保護区 下段：甲山湿原



イソシギ



コチドリ



コアシサシ



ユリカモメ



オナガガモ



サギソウ



モウセンゴケ



トキソウ



ヒメタイコウチ



ハチョウトンボ

幼児期



<p>健康な心と体</p> <p>幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。</p>	<p>自立心</p> <p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい自信をもって行動できるようになる。</p>	<p>協同性</p> <p>友達と関わる中で、お互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の現実に向けて、考えたり工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>	<p>道徳性規模意識の芽生え</p> <p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p>
<p>社会生活との関わり</p> <p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>	<p>幼児期の 終わりに 育って欲しい姿</p> <p>幼稚園教育要領より抜粋</p>		<p>思考力の芽生え</p> <p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>
<p>自然との関わり 生命尊重</p> <p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p>	<p>数量や図形標識や文字などへの関心感覚</p> <p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>	<p>言葉による伝え合い</p> <p>先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	<p>豊かな感性と表現</p> <p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>



1・2年生



	自然体験	生活体験	社会体験
1年生	<p>教科・単元</p> <p>☆いきものとなかよしく生活> ・なつがやってきた ・たのしいあきがいっぱい ・ふゆをたのしもう</p> <p>☆しらせたいな、みせたいな<国語></p> <p>☆くちばし<国語></p> <p>☆うみのかくれんぼ<国語></p>	<p>☆じぶんでできるよ<生活></p> <p>☆きゅうしょくとうばん<道徳></p> <p>☆にほんのあそび<道徳></p>	<p>☆どきどきわくわく1ねんせい<生活></p> <p>☆きゅうしょくとうばん<道徳></p> <p>☆にほんのあそび<道徳></p>
	EWC	☆アースレンジャーファミリー	☆環境パネル展
2年生	<p>教科・単元</p> <p>☆生きものとなかよし大作せん<生活></p> <p>☆春がいっぱい・夏がいっぱい 秋がいっぱい・冬がいっぱい<国語></p> <p>☆かえてきたホタル<道徳></p>	<p>☆ぐんぐんそだてわたしの野さい<生活></p> <p>☆つながる広がるわたしの生活<生活></p> <p>☆あしたへジャンプ<生活></p> <p>☆おせちのひみつ<道徳></p>	<p>校区たんけん</p>
	EWC	☆アースレンジャーファミリー	☆環境パネル展



国語科

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図ること。

図画工作科

造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。

音楽科

音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見出だしたりするなど、思考、判断し表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること。

算数科

数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象を数理的に捉え、算数の問題を見出し、問題を自立的、協働的に解決し、学習の過程を振り返り、概念を形成するなどの学習の充実を図ること。

3・4年生



		自然体験	生活体験	社会体験
3年生	教科・単元	☆生き物をさがそう<理科> ☆こん虫のかんさつ<理科> ☆春のくらし、夏のくらし、秋のくらし、冬のくらし<国語> ☆きつつきの商売<国語> ☆鳥になったきょうりゅうの話<国語> ☆里山を守ろう<道徳>	☆健康な生活<保健> ☆たねをまこう<理科> ☆植物の育ちとつくり<理科> ☆日なたと日かげの地面<理科>	☆わたしたちの住んでいるところ<社会> ☆わたしたちのくらしとまちではたらく人びと<社会> ☆市のようすとくらしのうつりかわり<社会> ☆人や社会に目を向けるって?<道徳> ☆わたしたちの西宮<社会>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
4年生	教科・単元	☆季節と生き物<理科> ☆自然の中の水のゆくえ<理科> ☆いのちをつなぐ岬<道徳> ☆このままにしていたら<道徳> ☆琵琶湖のごみ拾い<道徳> ☆プラタナスの木<国語> ☆ウナギのなぞを追って<国語>	☆ごみのしよりと活用<社会> ☆体の発育発達<保健> ☆ごみやしげんについて考えよう<道徳> ☆植物を育てよう<理科>	☆くらしをささえる水<社会> ☆ごみのしよりと活用<社会> ☆わたしたちの西宮<社会> ☆自然災害から人々を守る活動<社会> ☆神戸のふっこうは、ぼくらの手で<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

環境体験

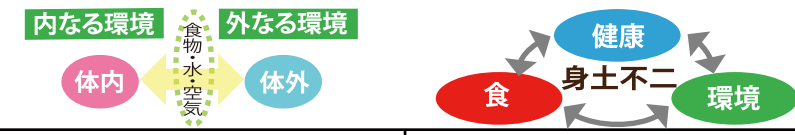
西宮めぐり

施設見学



サワガニ ヤゴ(ギンヤンマ) ヨシノボリ ドンコ カワニナ
イソガニ イシガニ(ガザミ) ヤドカリ テッポウエビ ウミナナ

5・6年生



		自然体験	生活体験	社会体験
5年生	教科・単元	☆国有種が教えてくれること<国語> ☆自然を大切に<理科> ☆植物の発芽と成長<理科> ☆花から実へ<理科> ☆雲と天気の変化<理科> ☆流れる水のはたらき<理科> ☆一ふむ十年<道徳> ☆宇宙から見たもの<道徳> ☆水がわたる橋<道徳>	☆学校や地域でのけがの防止<保健> ☆私の生活大発見!<家庭> ☆おいしい楽しい調理の力<家庭> ☆ひと針に心をこめて<家庭> ☆物を生かして住みやすく<家庭> ☆ミシンにトライ!手作りで楽しい生活<家庭>	☆日本の国土と人々のくらし<社会> ☆持続可能な暮らしへ物やお金の使い方<家庭> ☆あいさつって<道徳> ☆公園のきまりを作ろう<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
6年生	教科・単元	☆生物どうしのつながり<理科> ☆自然とともに生きる<理科> ☆大地のつくりと変化<理科> ☆命の旅<道徳> ☆海のゆりかご<道徳> ☆森へ<国語> ☆Words & Phrases 動物<英語>	☆夏をすずしくさわやかに<家庭> ☆思いを形にして生活を豊かに<家庭> ☆まかせてね、今日の食事<家庭> ☆冬を明るく暖かく<家庭> ☆ものが燃えるしくみ<理科> ☆植物のつくりとはたらき<理科> ☆発電と電気の利用<理科>	☆日本のあゆみ<社会> ☆あなたは地域や社会の宝物<家庭> ☆世界人権宣言から学ぼう<道徳> ☆六年生の責任って?<道徳> ☆「働く」って、どういうこと?<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

自然学校

火おこし・調理



タマムシ ミヤマクワガタ ノコギリクワガタ ヒラタクワガタ カブトムシ
オオスズメバチ アオカナブン オオムラサキ ゴマダラチョウ ハイイロチョッキリ

理科

理科の学習過程の特徴を踏まえ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの、問題を科学的に解決しようとする学習の充実を図ること。

社会科

問題解決への見通しをもつこと、社会的現象の見方・考え方を働かせ、事象の特色や意味などを考え概念などに関する知識を獲得すること、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用するなど、学習の問題を追究・解決する活動の充実を図ること。

家庭科

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、知識を生活体験等と関連付けてより深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見だして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見出す家庭を重視した学習の充実を図ること。

体育科

体育や保健の見方・考え方を働かせ、運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決のための活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図ること。

応じた配慮事項
教科の特質に

応じた配慮事項
教科の特質に